



国のエネルギー政策の研修会

浜岡原発から20キロに住む人間として
私は危険な浜岡原発の再稼働に反対です

市議会研修会講師はいつも「経産省 エネルギー庁 原子力立地政策室」の官僚と中電。

南海トラフにつながる大分まで大きな地震です。地震の度に原発は？と考えざるをえない今の状況。原発ゼロから思考を始める大転換こそ必要です。

先日の研修質疑では自民党議員から「原発恐怖神話の払拭を」という発言まで飛び出しました。立地自治体の御前崎市長は浜岡原発再稼働を要望しています。

市民の声は分かれているのに、市議会も県議会も、議員の多数が容認派。稼働反対を恐怖神話と考える方々に福島の実見は見えていないのでしょうか？

福島の事故から11年。多発する甲状腺がんになった方々が訴訟を起こしましたが、国が初期の被曝調査をしなかったためにデータは存在せず、因果関係の証明が困難です。原発の黒い雨やビキニ被曝のように被曝がなかったことにされかねません。

今稼働中の10基を2030年には27基程度に増やし、現在6%程度の原発による電源構成を22%まであげるといのが国のエネルギー計画です。



税金や電気料金に上乗せしたお金を安全対策につき込み、後処理も再処理も定かでないまま再稼働をすすめるより、原発ゼロを達成するための省エネや再生可能エネルギーの推進にお金と手間を注ぐほうがずっと未来があります。

1月の全員協議会(1/21)開催しました

① 来年度の市役所組織の変更提案

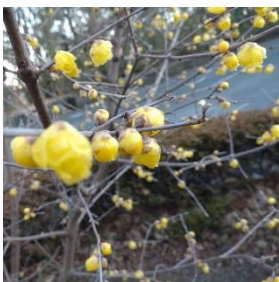
● 課の新設 施設の統廃合やDXの推進をどんなに行なえるよう総務部や企画政策部に権限を集めているようにも感じます。

・資産経営課 公共施設マネジメントの推進

・広報・シティプロモーション課 市長政策室から新設 市長政策室と秘書係は企画政策課

・DX推進課 DX推進室とIT政策課の統合

● 交通政策係が協働推進から都市政策に移るなど納得がいかないところも。



大寒の中 市役所のロウバイ

コロナ感染爆発

ここ数日で感染は急拡大。12万に満たない市ですでに9000人を超す感染者が出ていているわけて、誰でもどこでも感染する感染症です。

役所や学校などでも感染が広がっています。緊急対応を求めています。

3回目のワクチン接種開始時期

2回目のワクチン接種時期	接種券発送日程(目安)	集団接種開始時期	医院での個別接種開始時期
昨年5月以前	送付済	1/8~	実施中
昨年6月	1/24(月)	2/12~	接種券が届き次第
昨年7月	2/7(月)	2/19~	
昨年8/1~8/15	2月下旬	接種券が届き次第	
昨年8/16~8/31	3月上旬		
昨年9/1~9/15	3月下旬		
昨年9/16~9/30	4月上旬		

3回目のワクチン集団接種予約方法

◎65才以上の方

- ・日時と接種会場を指定した接種券が送付されます
- ・変更希望の場合は各自でコールセンター(050-5491-1250)か予約サイトで変更する

◎65才未満の方

- ・接種券が届いたら、コールセンターまたは予約サイトで予約する

※1・2回と同様に接種会場への交通手段としてタクシー助成が3月末まであります